

特集 運命の出会い、サポートします

今、結婚しない選択をする人が全国的に増えています。

山口市では、こうした選択をする人が
国や県よりも多い傾向にあります。

個人の意識の問題とも言われる未婚化。

しかし、市が行った結婚に関するアンケートでは
多くの人が結婚に前向きであることが分かりました。

地域の将来を担う若者で、結婚したいのにできない人がいる。

こうした現状に対して、市はサポート体制を整え、
結婚活動＝婚活を応援しています。

固福祉課 TEL22-6837

山口市の現状

市でも未婚化が進行

平成27年国勢調査の結果から、市の未婚率（20～49歳）は、45.2%と、県平均の38.7%より高く、5年前の調査と比較しても1.2%高くなるなど、未婚化が進んでいます。

こうした未婚化の進行は、少子化の要因のひとつと考え、市では少子化対策の一環で、市民を対象とした結婚に関するアンケートを平成28年度に行いました。

結婚したいけどできない人がいる

子世代の独身者のうち、結婚したい人が男性77%、女性75%と多数を占めています。

一方、結婚相手に出会う機会は、「全くない」「あまりない」を選んだ人が男性77%、女性88%と回答しており、さらに現在婚活をしている人は男性17%、女性19%と少数にとどまっています（参考図1～図3）。

これらのことから、結婚したい独身者は多いが、出会いの機会は少なく、また婚活には消極的だと分かりました。

また、親世代では、84.9%が子どもに結婚して欲しいと回答しています（図4）。

しかし、未婚の子どもがいる親世代は、子どもの結婚について、「本人に任せている」という回答が78.7%と圧倒的に多く（図5）、親が子どもの結婚について介入しづらい状況が推察されます。

市民の本音を聞きました 平成28年度実施「山県市結婚に関するアンケート」より抜粋

図3. 現在、婚活をしていますか。

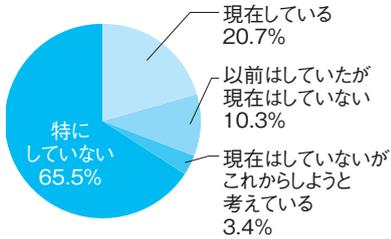


図2. 結婚相手となるような人と出会う機会がありますか。

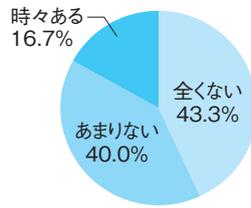
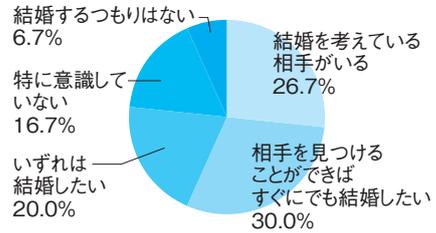


図1. 今後、結婚したいといますか。



子世代
(20~49歳独身)

※端数処理を行ったため合計が100%にならない場合があります。

図5. 子どもの結婚について、させたいと
思っていることはありますか。

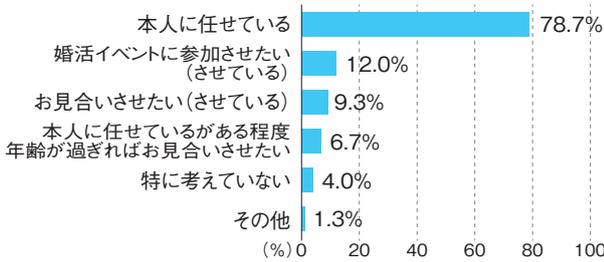
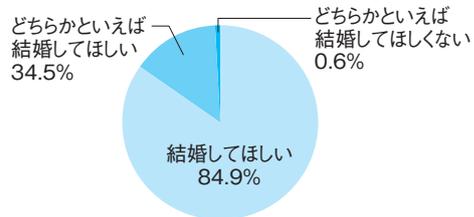


図4. 子どもに結婚してほしい
(ほしかった)ですか。



親世代
(60歳以上)

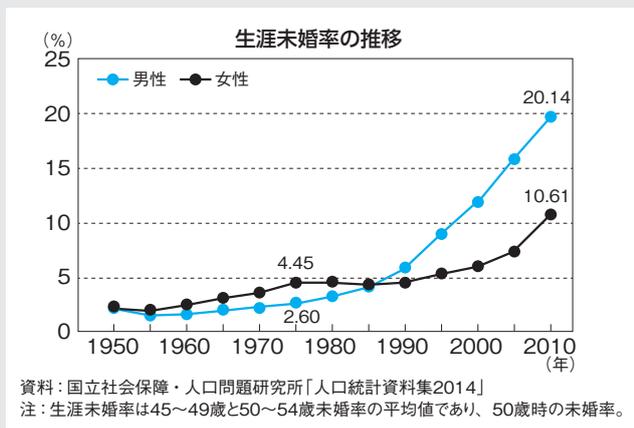
結婚したいと考えているのに、具体的な一歩を踏み出せない人がいる——
こうした人を後押しできるよう、市は、地域の人の協力を得ながら、「山県マリッジサポートセンター」をはじめとする、結婚したい人や結婚を応援したい人のサポート体制を整えています。

まわりの人で婚活のサポートを
1985年ごろから、それまで女性の方が高かった生涯未婚率が男性と入れ替わり、男性の生涯未婚率が急激に上昇し、2010年に20%を超えました。今後も高くなっていき、2030年には男性の3人に1人が、女性の4人に1人が生涯独身と予想されます。
また、未婚子をお持ちの親世代も、「結婚してほしい」という願望は強いものの、結婚は「子どもに任せている」と答えた人は8割近くにのぼりました。これらの状況から全国で未婚化が進んでいます。結婚は個人的な問題として考えられているようです。



岐阜女子大学 教授
三輪 聖子さん

最近では親の婚活や代理お見合いといった親同士の交流会やセミナーなども各地で催されていると聞きます。ただ、人だけではなかなか進展しない結婚は、ある程度まわりでサポートすることも必要なのではないでしょうか。



市の結婚サポートと婚活を応援する地域の人を紹介

1

山県市マリッジサポートセンター

運命の出会いを探してみませんか？

結婚したいけど何から始めたらいいかわからない…
できることなら地元の人と出会いたい…

山県市マリッジサポートセンターは、そんな悩みを持つ市内の結婚希望者や、子どもの婚活を応援したい親の声にこたえるための、市が運営する結婚相談所です。



■開所時間

- ・毎週金曜日 10時～13時
- ・第3土曜日、第1・4日曜日 10時～13時
- ・第2水曜日 19時～21時

■開所場所

高富中央公民館2階 TEL22-3354
(相談所の開所日時のみに対応となります)

■登録時の持ち物

- ・身分証明書(顔写真付)
- ・認印
- ・L版の写真(上半身が写っているもの)

★当事者だけでなく、親の相談も受け付けているので、気軽に問い合わせてください。

結婚支援のついでに 情報を発信

3ページで紹介したアンケート結果や、山県市マリッジサポートセンターのより詳しい情報のほか、市のデートスポットや助成金などを掲載した結婚支援情報誌「Yamarry」を昨年12月に発行しました。掲載された情報は、山県市マリッジサポートセンターのHPにも掲載しているので、ご覧ください。

また、アンケートのより詳しい結果や分析を「山県市民の結婚に関する調査報告書」としてまとめ、福祉課や市図書館本館、支所、出張所に設置しています。



▲結婚支援情報誌「Yamarry」



▲山県市マリッジサポートセンターHP

山県市マリッジサポートセンター
相談員に
突撃取材!



Q 20代から40代までの幅広い年齢の人が登録しています。山

A 県の人が結婚したい人、山県にはこだわっていないけど、出会うきっかけがほしいという人などが登録しています。

Q 恥ずかしくて行きにくい...という場合はどうしたらいいですか？

A 恥ずかしいと思う理由に、自分で相手を見つけれないことにコンプレックスを持つ人、結婚相談所は最終手段だと思う人も多いと思います。

今時の「出会い」は多様化しています。婚活パーティーやSNSで出会って幸せな結婚をしている人も珍しい話ではありません。結婚相談所

は特別なものではありません。山県市マリッジサポートセンターの利用は無料です。出合いのきっかけのひとつとして気軽な気持ちで来てください。

Q アドバイスをお願いします

A 結婚していかない人の多くに経済的不安があるから、出合いがないからなどの理由を挙げる人がいますが、その裏には失敗や傷つくことを恐れている場合もあります。

皆さんは今までも未知なるものに挑戦しています。進学や就職などさまざまな挑戦を繰り返しています。結婚も同じです。うまくいかない場合もあると思いますが、どの経験も無駄ではありません。失敗したり、傷ついたりした人ほど結婚生活に大切な「思いやりの心」を持っています。自分にはないものばかりに目を向けず、あるものに目を向けて自信を持ってください。

山県市マリッジサポートセンターには恋愛心理のプロと婚活のプロがいます。恋愛や結婚の悩み・不安を解決するノウハウや経験を持っています。

結婚したいがどうしたらいいかわからないという人は、まず一度来てください。結婚は特別な話ではなく、誰にでも可能性があらものです。

2 地域で結婚を応援!

山県市地域結婚支援協議会

地域の幅広い分野の関係者が連携し、市の未婚化・晩婚化について地域の実情や課題を把握した上で、結婚し家庭を持ちたいという独身者の希望を叶えるための対策事業を実施することを目的に、協議会活動をしています。

市に問い合わせる前に、地域の人に結婚支援について聞いてみたいと思ったら、このステッカーを貼っている人に声をかけてみてください。

また、このステッカーを貼って地域から婚活を応援したい人は、協議会委員か福祉課に連絡してください。

地域から結婚支援の意識を高めていきましょう。



3 結婚したい人を応援!

その他、市の結婚支援事業

平成29年度 結婚新生活支援事業

平成29年3月1日から平成30年2月28日までに結婚した世帯(平成28年中の夫婦の合算所得が340万円未満)に対し、24万円を限度に住居費(購入費、賃貸の費用)、引越費用(引越業者、運送業者に支払ったもの)の一部を助成します。

▼申請期間 平成29年6月1日～平成30年3月9日
國福祉課 Tel.22-6837

婚活イベント

恋人の聖地 伊自良湖で

幸せをみつけてみませんか?

▼日時 7月9日(日)11時～15時

▼参加条件 20～40代前半の独身男女

▼男性 市内在住、在勤

▼女性 市内、市外問わず広く募集

▼参加費 男性3,000円

女性2,000円

▼参加申込 コンサポ・ぎふHPまたは、NPO法人ユメココサポート

Tel.080-1159419514

Eメール npo@yume-coco.net

▼申込期限

7月1日(土)

